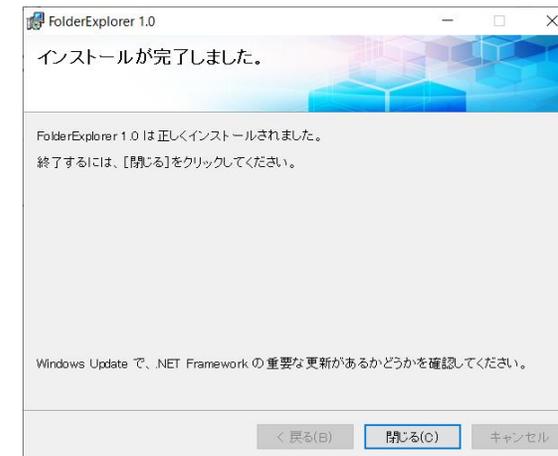
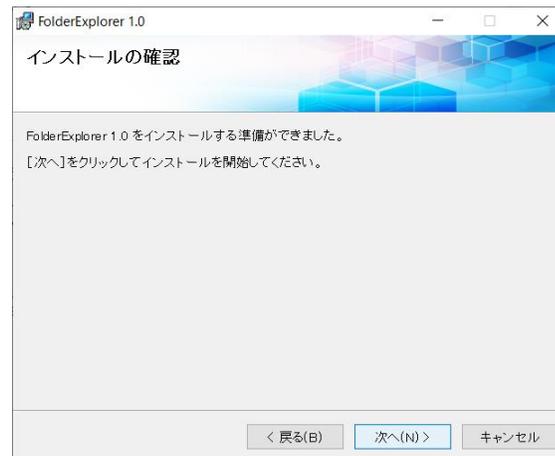
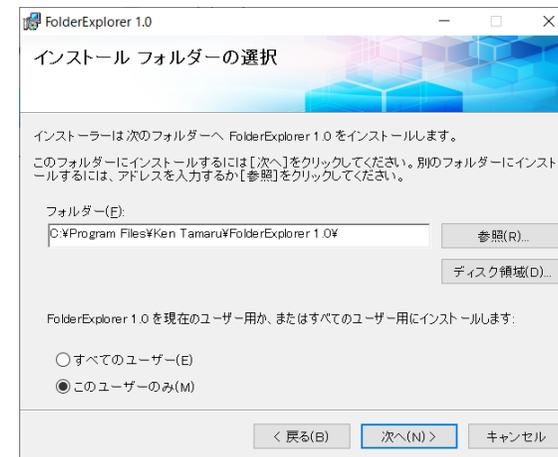
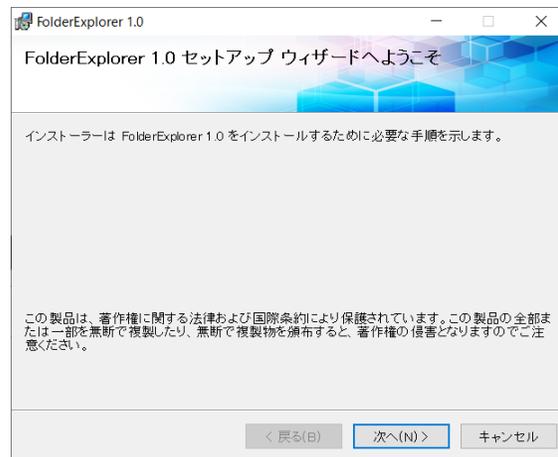


Folder Explorer 使い方

FolderExplorer のインストール

「setup.msi」をクリックして
FolderExplorer 1.0 イン
ストーラーを実行します。



エクスプローラー拡張



エクスプローラー上で直接フォルダーを選択し直接Folder Explorerを実行することができます。

方法 1

1. エクスプローラー上でフォルダーを選択しマウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されたコンテキストメニュー「Folder Explorerで探索」をクリックします。

方法 2

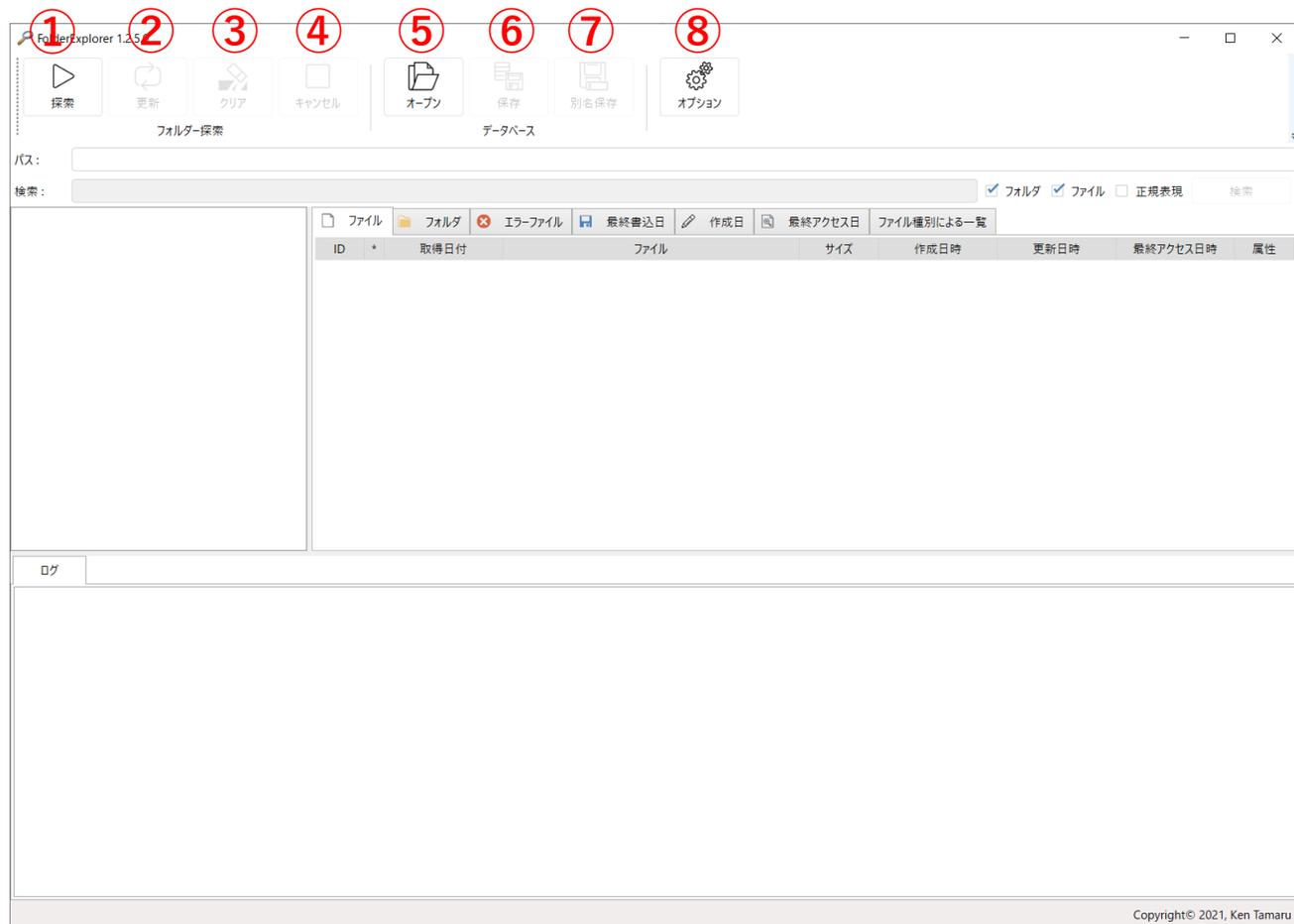
1. キーボードの「」を入力します。
2. 表示されたコンテキストメニュー「Folder Explorerで探索」をクリックします。

コマンドラインオプション

- Folder Explorerは以下のコマンドラインオプションをサポートしています。

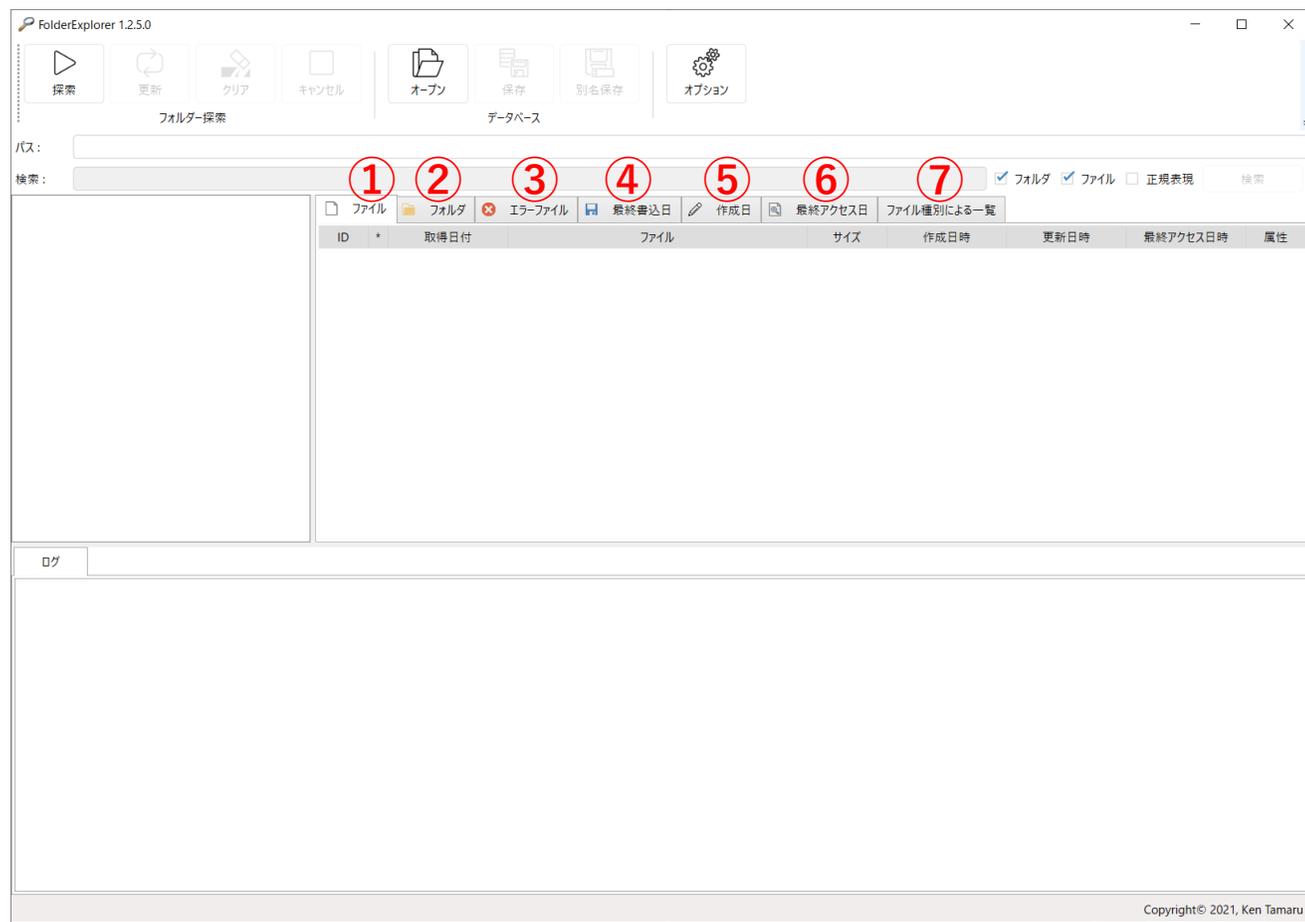
オプション	概要
/F <フォルダーパス>	FolderExplorer実行と同時にフォルダーパスで指定されたフォルダーを探索します。
/D <保存データパス>	FolderExplorer実行と同時に保存データパスで指定された保存データを読み込みます。
/A	コマンドラインオプションが指定されている場合、FolderExplorerは自動的に終了します。自動終了させない場合、このオプションを指定します。

主な機能



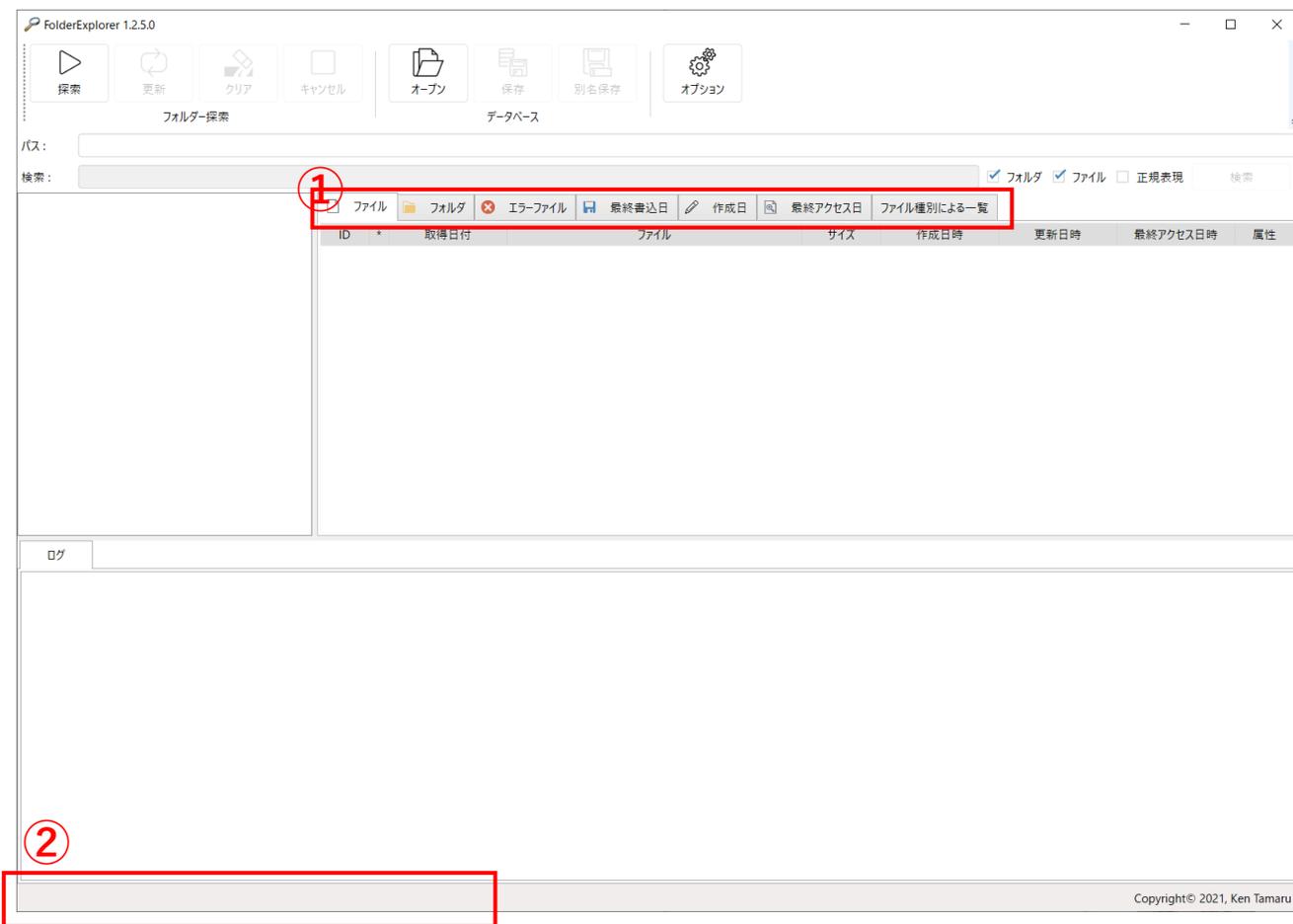
- ① **探索**
クリックすることでフォルダ選択のダイアログが表示され、分析するフォルダを選択します。
- ② **更新**
探索済みデータ、もしくは保存データとの差分探索を行います。
- ③ **クリア**
検索結果又は読み込んでデータを初期化します。
- ④ **キャンセル**
実行中探索プロセスを停止します。
- ⑤ **オープン**
保存したデータを読み込みます。データを読み込む事で対象フォルダへのアクセスが無くとも内容を参照することが出来ます。
- ⑥ **保存**
探索結果を保存します。保存した内容は、探索することなく読み込むことで参照できます。
- ⑦ **名前を付け保存**
一度保存したデータ又は読み込んだデータを異なる名前で保存します。
- ⑧ **オプション**
オプションダイアログを表示します。

結果表示内容



- ① **ファイル**
選択したフォルダ内のファイル一覧を表示します。サイズ比率等確認できます。
- ② **フォルダ**
選択したフォルダ以下のフォルダサイズ、比率等確認できます。
- ③ **エラーファイル**
選択したフォルダ以下の探索中にエラーが発生したファイル若しくはフルパス名のサイズが**260文字**を超えるファイルの一覧を確認できます。
- ④ **最終書込日**
ファイル最終書込日毎の合計ファイルサイズ、合計ファイル数を確認することができます。
- ⑤ **作成日**
ファイル作成日毎の合計ファイルサイズ、合計ファイル数を確認することができます。
- ⑥ **最終アクセス日**
最終アクセス日毎の合計ファイルサイズ、合計ファイル数を確認することができます。
- ⑦ **ファイル種別による一覧**
ファイル種別毎の合計ファイルサイズ、合計ファイル数を確認することができます。

結果表示の並べ替え等



① ヘッダー

グリッド表示のヘッダー部分をクリックすることで表示データを並べ替えすることができます。

② ステータスバー

探索中、探索後のフォルダー総数、合計ファイル数、フォルダサイズを確認できます。

オプション設定

プロパティ

基本設定

① 検索スレッド数(1~32): 5

② 検索するフォルダ種別:

- 読み取り専用フォルダ
- システムフォルダ
- 属性なし
- オフライン
- 暗号化
- OneDriveオフライン
- 隠しフォルダ
- アーカイブフォルダ
- 圧縮
- インデックスなし
- OneDriveローカル

③ 検索するファイル種別:

- 読み取り専用ファイル
- システムファイル
- 属性なし
- オフライン
- 暗号化
- OneDriveオフライン
- 隠しファイル
- アーカイブファイル
- 圧縮
- インデックスなし
- OneDriveローカル

匿名化

④ フォルダ名: 匿名化をする

⑤ ファイル名: 匿名化をする

ファイルの更新検証対象

⑥ 更新検証対象:

- ファイル属性
- 最終アクセス日時
- ファイルサイズ
- 作成日時
- 最終書込日時
- ファイルハッシュ値

ファイルハッシュ計算

⑦ 計算に使用するアルゴリズム: NA MD5 SHA1 SHA256

デフォルト 保存 キャンセル

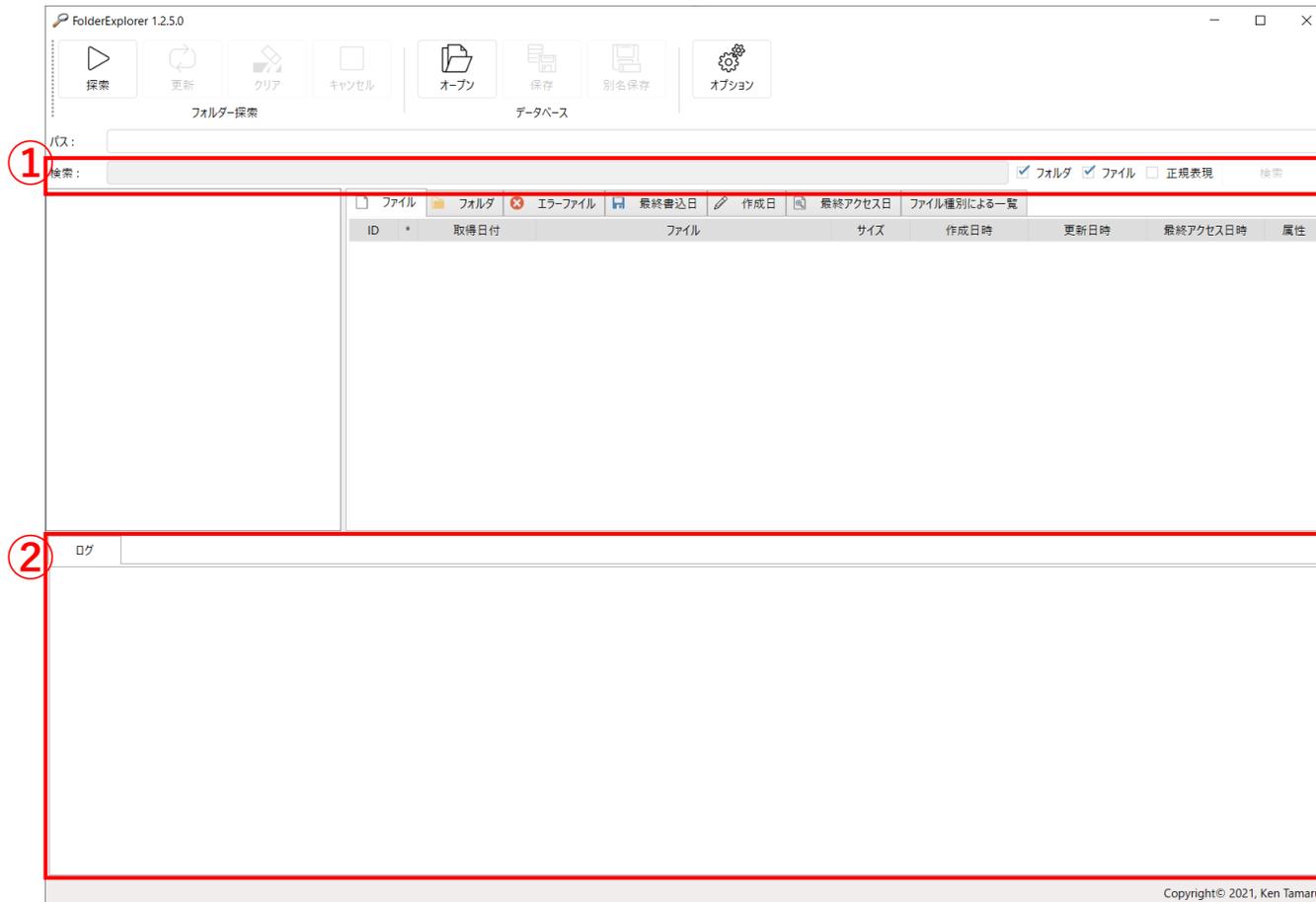
基本設定

- ① **検索スレッド数**
同時並行して探索するフォルダの数を指定します。遅いネットワーク越しでは多めのスレッド数（5～7）、通常は3～4で設定します。
- ② **検索するフォルダ種別**
探索するフォルダ属性を指定します。指定されていない属性のフォルダは探索結果に含まれません。
- ③ **検索するファイル種別**
探索するファイル属性を指定します。指定されていない属性のファイルは探索結果に含まれません。

匿名化

- ④ **フォルダ名**
探索結果のフォルダ名がDをプリフィックスとするフォルダ名に置換されます。
- ⑤ **ファイル名**
探索結果のファイル名がFをプリフィックスとするフォルダ名に置換されます。
- ⑥ **更新検証対象**
ファイル、フォルダの変更を検証する際の対象属性を指定します。ファイルハッシュ値を取得している場合は、属性が同じであっても内容が変更されていることを検知できません。
- ⑦ **ファイルハッシュ計算**
ファイルのハッシュ値の取得する際に使用するアルゴリズムを選択します。通常はNAを選択します。ハッシュアルゴリズムを指定した場合、フォルダ探索が遅くなります。また、OneDrive等のオフラインファイルはオンラインとなります。

検索と検索結果



① 検索

探索結果に対して検索することができます。対象をフォルダー、ファイル若しくはその両方を指定し、検索するキーワードを入力後に「Enter」キー若しくは「検索」ボタンをクリックします。

② 検索結果

検索結果が一覧で表示されます。検索結果タブは、検索結果がある場合のみ表示されます。検索結果が無い場合は表示されません。